

バトルスピリッツ 獄焰

陣禪 祀

## 【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【あらすじ】

獄焔を戴く、龍帝使い。

故に焔帝と呼ばれたカードバトラーがいる。

古竜や龍帝を主軸としたデッキを用い、対戦者の悉くを塵殺したとも言われる、赤使いでなくともカードバトラーならば必ず一度はその異名を耳にすると言われた使い手。

数年前、そう。アルティメットが登場し隆盛を迎えた時期にぱつたりとその噂は途絶えた。

だが――

かのバトラーは帰ってきた。

何喰わぬ顔で、

『勉強だ受験だと忙しくなって離れてたが久し振りに復帰するわ』

等と宣って。

では、語るとしよう。

時代に置いていかれた筈の過去の強者が、新たな僕を得てのしあがっていく様を。

置き物様 (<https://syosetu.org/?mode=User&uid=237512>) が執筆されている本作の спинオフ『バトルスピリッツ 獄焔 外伝 特撮カードバトラー 真木シュウヤ』(<https://syosetu.org/novel/210855/>) もどうぞぜひ読んでください。

目次

第一話	帰還	1
第二話	煌臨	11
第三話	魔王 V S 龍神	27
第四話	獄炎 V S 冥王	37

## 第一話 帰還

よつす、俺神田カゲト。大学1年、19歳。

難関大志望したせいで高校一年の終わりくらいからバトルスピリッツ封印してたんだ。

受験諸々も済んだし久方振りに愛用の古竜デッキを引っ張り出して馴染みのショップに顔出しに来たんだ。

「来たん…だがなあ…」

何が悲しいって人がいねーんだ、人が。

いや、うん。店員は居るんだけど明らかに俺が来なくなってるから雇われた人みたいだし。

平日の午後3時だぞ、今！なんでこんなにな人がいねーんだ?!

… あ、平日だからか… いや、でも小学生とかこの時間よく居たよなあ!?なんでだ!?なんで居ないんだ!!くっそー、バトルしてえのに…

「…い」

ツいてねーな。全くツいてねー。

「…ーいー」

く、こうなつたらパック見繕って纏め買いでも…

「オイ！カゲト!!無視決め込むな!!」

「っうお!?何だ?!

耳元で怒鳴られ、思わず大声で返すと、そこにいたのは馴染み深い友人緑色の天パであった。

「おいおい、何だとはなんだ、突然『俺バトルスピ封印するわ』とか言つて止めたヤローがよー」

この天パは『ししどろ宍道アキラ』。俺がやってた時分に使ってたのは確か剣獣とか殻人だったか。今は何使ってるのかわからんが。

「はー、うっせ。後で後悔しまくったわこの野郎。何とか受かったから良かったけどよ」

「ケツ、相変わらず可愛げねーな。折角使いもしねえ古竜のカードストックしてやってたのに」

「ちよ、それまあいい!? すんませんアキラ様! この通り! ユルシテ! ミセテ! チョーダイ!」

恥も外聞もあつたもんじゃないって? その通り、というか三年もブランクあるからとにかく今のカードプールのカードは欲しい、とても欲しい。

「おーおー、お前の手首はモーターか? : : : えーと確かこの辺に: : : っと。あつたあつた、ほれ」

ガサゴソと肩からかけたスポーツバッグを漁り、ちよつとしたデッキ以上の厚みのカードの束が差し出された。

「サンキュ、デッキ組み換えついでに最近の環境の話聞かせてくんね? ソウルコアとかいうのが実装されたっつーことは聞き及んでんだが、それ以外はてんでさっぱりでな」

実際問題、環境というかどうかというキーワード効果が追加されてんのがわからんと対策もとれないし無様を晒す原因にもなる。アルティメットが出た当初の波乱もそうだな。Uトリガーが破棄じゃないってそれイチ。

「おん? まあ良いけどさ、お前やつぱ古竜とか龍帝使うんだろ」

「そりやな。俺の<sup>デヤマスライ</sup>魂のカード、忘れた訳じゃねえよな?」

「つたりめーだろ。アイツで何回押し込まれたと思つてやがる」

「いっぱい☆」

とびきりウツザイドや顔決めたら殴られた。解せぬ。

「よつしや、こんなもんか。異魔神? 煌臨? 知らない子ですね。男は黙つてぶん殴れ」

「オイこら、いくらなんでもそれは無いぞお前。異魔神や煌臨についでけないならバトスピできねーぞ」

呆れ顔で言われてもそんなことは知らん。殴り抜けば勝てる、それが真理だろJK。

「じゃあ一戦、お手合わせ願いましうかねええ!」

そういや言い忘れてたが、バトスピショップには大抵仮想バトルマシンのある。今回はデッキ組む前に予め店員さんに申請して使用許

可も貰って稼働準備してもらっている。

「チツ、負けて吠え面かくなよ復帰者さんよお!!」

アキラも結構ノリノリだな。このテンションの原因が言うのもなんだが。H A H A H A!

「じゃあいくぜ..」

所定の位置に立ち、互いにデッキを構える。

ここで言うのは勿論、カードバトラーの合言葉。

「ゲートオープン！解放!!」

視界が一瞬ホワイトアウトし、次の瞬間には仮想空間であるバトルフィールドへ移動していた。

荒涼としたただっ広い平地。それがこのバトルフィールドだ。

ここで対戦者はそれぞれのホバーボードに乗ってバトルする。仮想空間含めどういう原理なのか知らんが、利用する分にはそんなこと関係ない。

「じゃあアキラ！先攻は貰うぜ！スタート、コア、ドロー、リフレッシュ、メイン！」

先攻1T目はコアステップでコアを増やせないが、まあ先攻つてのは先に開始できるのがアドバンテージだからな。

「暴龍王 ネロ・ドラグディウス召喚、Lv1。ターン終了だ！」

現れるはローマ帝国のとある暴君をモチーフとしたであろう最軽量の龍帝。きらびやかな衣装を纏っており、雰囲気もおっかないが、ずんぐりとした体型のせいであんまり怖くない。個人的に。

姿はさておき、竜騎や古竜といったサポートに恵まれた他の系統も備えているので効果含め優秀だと思う。

《カゲト》

ライフ：5

手札：5↓4

リザーブ：<4>↓0

トラッシュ：0↓3

バースト：なし

フィールド：

暴龍王ネロ・ドラグディウス Lv1 (<1>) / BP 3000 /  
回復

「ふん、いつも通りってどこか。つーか早速ソイツかよ、てつきりカメレオプスカ百識の谷系列かと思っただが」

「いやー、まあ… 試運転だしなあ…」

カメレオプスは赤のスピリットで、自分がコスト7以上のスピリットを召喚するとき自身に赤のシンボルを二つ追加するって能力を持つ。赤で大型を序盤から並べる場合の定番だ。

百識の谷つてのは赤のドロー加速の代名詞的ネクサスで、Lv1はドローステップに追加ドロー、その後手札を一枚捨てる。Lv2はドローステップのドロー+1。つまりLv1は手札交換効果、Lv2は単純なドロー加速。コレの派生ネクサスは何枚かあって、どれもLv1効果かLv2効果を引き継いで、もう片方は固有の効果を持つてる。軽減シンボルも兼ねて初手安定の一枚でもあるな。

まあ、今回はご覧の通りどっちも出してないんだけどな！

「けっ、じゃあ俺のターンだな。スタート、コア、ドロー、リフレッシュ、メイナー！」  
「… そうだな、コレで良いか。魔王蟲の根城をLv1で配置、エンドだ」

アキラの背後に、蟻塚のようなものが無数に生えた巨木が現れる。魔王蟲の根城か… 厄介なモン出してきやがったな。

《アキラ》

ライフ：5

手札：5 ↓ 4

リザーブ：<5> ↓ 0

トラッシュ：0 ↓ <5>

バースト：なし

フィールド：

魔王蟲の根城 Lv1 (0)

「いや、お前こそ初っ端から根城かよ」

「あ？何言ってるんだ、コイツの恐ろしき忘れたか？」

「忘れてないから言ってるんじゃないか？」

Lv1効果は緑と青の混色ネクサスらしく『連鎖』<sup>ラッシュ</sup>を持つ自分のスピリットのアタックによって相手のライフを減らしたときコアブーストを行う。だが、問題はLv2効果なんだよな…。

「ま、手心加えてちゃ話にならないわな。スタート、コア、ドロ、リフレッシュ、メイン！ネロをLv2にアップだ」

暴龍王 ネロ・ドラグディウスLv1↓2 (<1>↓<3>) / B  
P3000↓5000

「そして…このスピリットはコスト5として召喚することもできる！1軽減4コスト、更にネロ・ドラグディウスのLv2・3効果！系統・龍帝を持つスピリットを召喚するとき、自身を疲労させることでリザーブから3コストまで支払ったものとして扱う！さあいくぜ、アキラ！」

「へっ、コスト変更効果の時点で何出してくるのかなんて大体わかるからな。あいつらの内のどれかだろ？」

「その通り！白き守護の叡知持ちしもの、五賢龍帝ピウス！Lv1で召喚！」

現れるは両肩に巨大なバリスタを装備し、二振りの斧槍<sup>ハルバード</sup>を背負いし威容。城塞が如き白の五賢龍帝。

「ネロ・ドラグディウスの効果で1ドロ、そんでネロ・ドラグディウスをLv1にダウンし2軽減2コスト、千識<sup>ちしきのけいこく</sup>の溪谷<sup>せきこく</sup>をLv1で配置…からのバーストセット！ターン終了だぜ！」

《カゲト》

ライフ：5

手札：5↓3

リザーブ：4↓2↓0

トラッシュ：0↓3

バースト：あり



フィールド：

暴龍王ネロ・ドラグデイウス Lv2↓1 (<3>↓<1>) / B  
P5000↓3000 / 疲労

五賢龍帝ピウス Lv1(1) / BP6000 / 回復

千識の渓谷Lv1(0)

「へえ、意外だな。てつきりアタックしてくるかと思ったんだが」

「まあそこは慎重にやんなきゃな。まだ序盤なんだしよ」

「コア量のアドバンテージを与えたくないってか？それはこっちのセリフだつての。スタート、コア、ドロー、リフレッシュ、メイン。さ  
てどうするか…」

1 軽減0コスト、森林のセツコーキジをLv1で召喚。そんで3軽減1コスト、庚戌兵こうじゆうへい・パーシユアー・ボルゾイをLv1で召喚だ。そして3軽減1コスト、六分儀剣セクスタントのルリ・オーサをLv2で召喚、召喚時効果で赤のスピリット2体…自身の効果で赤のスピリットとしても扱うセツコーキジ、ルリ・オーサにボイドからコアを一個ずつ乗せる。セツコーキジ、ルリ・オーサからコストと維持コアを1つずつ確保し、3軽減1コスト。もう一体ルリ・オーサを召喚、召喚時効果でセツコーキジと一体目のルリ・オーサにコアを置く。一体目のルリ・オーサをLv1にダウンさせ、魔王蟲の根城にコアを2つ載せてLv2にアップさせるぜ」

森林のセツコーキジLv1(1) / BP1000

庚戌兵こうじゆうへい・パーシユアー・ボルゾイLv1 (<1>) / BP300

六分儀剣セクスタントのルリ・オーサ①Lv1(1) / BP3000

六分儀剣セクスタントのルリ・オーサ②Lv1(1) / BP3000

魔王蟲の根城Lv1↓2(0↓2)

リザーブ6↓1

トラッシュ0↓3

簡素な鎧を纏い、日本刀を携えたキジのようなスピリットと、鯨のようなヒレやエラ、サブマシンガンを持った半魚人のような2本の腕の生えた白き獵犬のスピリット、更にその名の通り六分儀の意匠を持つ剣を構えた人のシルエットを持った昆虫のようなスピリットが2

体、アキラの場に現れる。きつちり大量にコアブーストしてくるからやられるこっちは堪ったもんじゃねえ！

「コアアドバンテージがどうの言いながらお前だって滅茶苦茶飛ばしてんじゃねえかよ!？」

「これが緑の持ち味だぞ? 何言ってるんだお前」

俺の批難なぞどこ吹く風、といった感じか。なめやがってコンチキシヨウ。

「んじゃ、アタックスステップ! いけ、ボルゾイ! Lv1・2・3アタック時効果で自身にボイドからコアを置きLv2に、更にLv2・3アタック時効果でお前はここのバトル中バーストを発動できねえ! 更に青シンボルがあるので連鎖<sup>ラッシュ</sup>発揮、ついでにマジックも使用できねえぜ!

「はっ!?! ちよ、おまつ!?!」

それは流石に聞いてませんねえ!?

「フラッシュあるか?」

「いや、ないです (死んだ目)」

「じゃあフラッシュ! ボルゾイをLv1にダウンしコスト確保して2軽減2コスト、ストームアタック! ピウスを疲労させてボルゾイを回復する」

アキラが掲げたマジックから放たれた風がピウスを押しさえつけて疲労させ、逆にボルゾイを包み込んで回復させる。

「ウワーコレハヒドイ、ライフデウケマース」

《カゲト》

ライフ:5↓4

「連鎖<sup>ラッシュ</sup>を持つスピリットのアタックによって相手のライフを減らしたのでボイドからコア一個をリザーブに置く。そら、もう一丁! やれ、ボルゾイ!」

「マジデヒドイ、ライフデウケマース」

《カゲト》

ライフ:4↓3

「よし、連鎖<sup>ラッシュ</sup>を持つスピリットのアタックによってライフを減らした

のでボイドからコア一個をリザーブに置くぜ。バースト踏みたくねーしターンエンドかな」

《アキラ》

ライフ：5

手札：0

リザーブ：2

トラツシユ：5

バースト：なし

フィールド：

森林のセツコーキジ Lv1 (1) / BP1000 / 回復

庚戌兵<sup>こうじゅうへい</sup>パーシユアー！ボルゾイ Lv2 (<2>) / BP5000 /

疲

六分儀剣<sup>セクスタン</sup>のルリ・オーサ① Lv1 (1) / BP3000 / 回復

六分儀剣<sup>セクスタ</sup>のルリ・オーサ② Lv1 (1) / BP3000 / 回復

魔王蟲の根城 Lv2 (2)

「てめえマジふざけんなよ…！スタート、コア、ドロ、リフレツシユ、メイン！千識の溪谷Lv1・2効果で手札の系統：覇皇／古竜を持つスピリットカードに赤軽減がひとつ追加されてるから3軽減0コスト、モダニツク・ドラゴンを召喚、Lv1。そして…！軽減追加で4軽減の3コスト！」

「7コストお…？チツ、アイツが来るか！」

「ああそうさ、『コイツ』だよ！旧き伝説よ、魔王となりて蘇れ！」

宣言と共にフィールドが割れ、紅蓮の火柱が昇る。

「煉獄より出でよ、我が魂！焰竜魔王マ・グー、Lv1で召喚だ！」

そこから這い出てきたのは、四臂に巨大な鎌と双槍を携え、二足で立つ黒き龍。身体を走る赤き紋様、紅蓮に燃える双角、一際赤く輝く双眸。悪魔の具現のような姿をした俺のキースピリット、焰竜魔王マ・グーだ。

「まだまだいくぜエ、ネロ・ドラグデウスをLv2に。そしてコイツだ！軽減追加して5軽減3コスト、ネロ・ドラグデウスを疲労させてリザーブから3コスト支払ったものとし、モダニツクを消滅させて

維持コスト確保！今一度登場願う！白き守護の叡知宿せし龍帝よ、軍勢を屠る力を示せ！五賢龍帝ピウス、Lv1で召喚！」

「げっ！本来のコスト支払って召喚しやがった…！」

「更に召喚時効果発揮！本来のコストを支払って召喚したため相手のスピリットを合計BP15000まで好きにだけ破壊する！お前の場の合計BPは12000！よって四体とも破壊だア!!」

再び現れた白き五賢龍帝より、両肩のバリスタが発射され、更に背より引き抜かれた二本の斧槍ハルバードが振り下ろされ、それによって生じた爆炎が追撃とばかりにアキラのフィールドを焼く。

ほんとはマ・グーを出すこと自体やるべきじゃないんだが、相手に防ぐ手だてが一切存在しないことが明白な以上、相棒に久し振りの出番をやりたい訳で。

「くっそが…！コアブーストした意味イ…！っーか調子に乗ってストアタ使うんじゃないかったか…！」

「全く以てその通りだなア！ネロ・ドラグディウスをLv1にダウン、ピウス2体をLv2にアップ！さあ、その油断と慢心の代償を支払って貰おうか！アタックステップ！マ・グーの効果！アタックステップ中、自分の系統：竜人／古竜を持つスピリット全てにBP+3000、更にアタックステップ開始時、トラッシュにあるコアを好きなだけこのスピリットの上に置ける！これでLv3になったことにより、Lv2・3効果が発揮！自分の系統：古竜を持つスピリット全てに赤のシンボル一つを追加する！」

焔竜魔皇マ・グーLv1↓3 (1↓<5>) / BP5000↓10000+3000 / シンボル赤+赤

五賢龍帝ピウス①Lv2 (2) / BP8000+3000 / シンボル赤白+赤

五賢龍帝ピウス②Lv2 (2) / BP8000+3000 / シンボル赤白+赤

暴龍王ネロ・ドラグディウスLv1 (1) / BP3000+3000 / シンボル赤+赤 / 疲労

「やれ、ピウス！トリプルシンボルだ！」

「ちイツ!!ライフだ!」

《アキラ》

ライフ：5↓2

「つく…今回は譲ってやんよ…だが覚えとけ、次は俺が勝つからな!」

「はっ、次も俺が勝たせてもらうさ。いけ、マ・グー!アタックだ!」

「はー、全く、だから可愛げがないって言ってるんだよ…ライフで受ける!」

《アキラ》

ライフ2↓0

WINNER：神田カゲト

Congratulations!!

「だああ、負けた負けたア!つかマ・グーと千識の溪谷以外俺が融通してやったヤツばつかじゃねえかよ」

「いや、お前も俺のデツキ内容粗方知ってるんだからそんなのわかりきってたろおい。なあ?バーストで足踏みして負けた誰かさん!ちなみに伏せてたのはスサノだからどつちにしろ止まってたけどな」

「なっ、ぐっ…ぐぐぐ…引き運が悪かったただだ、次は負けねえ」

「弱いヤツ程良く吠えるってな!H A H A H A!!」

「ぐぬ、もう一戦だ、もう一戦!」

バトルスピリッツ 獄焔 第一話 了。

## 第二話 煌臨

先のバトルは俺の勝利で終わった訳だが、俺は半分事故みたいな手札を調子に乗って削ってくれたライフのコアで強引に展開した結果たまたま勝てただけだし、アキラの握ってたマジックがストアタじやなくてサイレントウォールの系譜の防御カードなら凌がれてた訳で。

それにもし一体でも除去されてれば展開は厳しかったろうし。：もう少し練り直さないとな。

いつそ赤緑でステロイド気味に組むのもアリか…？

等と考えながら最近の汎用カードと共に一箱買った最新弾を開封していつていると、何やら見覚えの無いカードが出てきた。なんだコレ、なんかシンボルが雫型してるんですけど… というかコレイラストってかカード名からして激突王なダン君じゃないか…。

「おいアキラ」

「んだよ」

「このダン君のネクサスってなんだ」

「あ？あー、グランウォーカー創界神ネクサスか。そいつはグランウォーカー創界神ネクサスを対象にした効果以外を受けないから配置時含めてコアを置いたり、取り除いたりできない上に現状除去手段がほぼ存在しない、ネクサスのバリエーションのひとつみてーなもんだな」

「ふむ… ん？じゃあどうやってコア置くんだよ、置けなきや効果発揮できねーじゃん」

「いやそこはテキスト読めよ、テキストの最初は注意書みたいな、創界神ネクサスを対象とした効果以外受けないテキスト、その次にコアチャージ『神託』つてのがあんだろ」

コアチャージ神託… お、あった。

何々…

「爬獣／地竜／翼竜／古竜／星竜」(召喚／煌臨での神託はターンに一回)

◆対象の自分のスピリットを召喚／煌臨したとき、ボイドからコア

一個をこのネクサスに置く。

◆このネクサスを配置したとき、同じカード名の自分の創界神ネクサスがなければ、自分のデッキの上から三枚をトラッシュに置ける。その中の対象カード一枚につき、ボイドからコア一個をこのネクサスに置く。

※バトスピwikiより引用

「へー、つーことはコレ、激覇の時にダン君が使ったことある系統が神託対象になってんのか。良いね、古竜も対象じゃん」

「まあ開発側も結構味な真似するよな、ソレ以外にも特別ブースターで結構な数のアニメキャラの創界神ネクサス出してたから、探せば使えるのあるんじゃないかな」

「ほー、成程な。ところで、パッと見から思ってたけどさ。…このグランスキル神技グランスキルの神域グランスキルだの、テキスト量多すぎね？」

「いや。…うん。…それは登場当初からだからノーコメントで…。大抵書いてることも強いから許容してくれ」

「んじやこの零型のシンボルはなんだ？どうも軽減に使えるカードもあるみたいだが」

「そりや神ゴッドシンボルだよ、創界神ネクサス専用みたいなもんで、他に持つてるカードは殆ど無い」

「ほへー、低コストネクサスだから手軽に配置できて既存の軽減にできちゃ不味いって理由から生れたシンボルなんだな」

「ゲームバランス視点から冷静に『大人の事情』発言すんなよ。…」

「テヘペロ☆」

「…」（無言の腹パン

「おぐっ!？」

「…ぐう。何も腹パンしなくても良いだろバカ野郎」

「無性にムカついた。反省はしていない」

「でしようねえ!!とりまダン君突っ込んで…。よし!調整終わり。テーブルバトルでもう一戦だアキラ!もっかい張り倒してやんよ!ダイスロール、俺は奇数だ!」

「おー良いぜ、やってやんよ。じゃあ俺は偶数だな」

『運命のダイスロール!』

結果：4

「んー…よし、俺は先攻とるぜ」

「OK、じゃあ始めるか。せーの…」

『ゲートオープン!界放!』

「うし!スタート、コア…は無しでドロ、リフレッシュ、メイン。

ほー、さっきのグチャグチャ具合はなんだったんだコレ。軽減無し4

コスト、『ヘルメスの竜巻神殿』をLv1で配置。配置時効果でボイド

からコア一個をリザーブに。更に2コスト1軽減で1コスト、

グランウオーカー

『創界神ヘルメス』配置。俺のフィールドに同名カードが無いので

コアチャージ

神託発揮、デツキの上から三枚をトラッシュユヘ置く」

ヘルメスの竜巻神殿 Lv1(0)

創界神ヘルメス Lv1(0)

1. 庚戌兵パーシユアー・ボルゾイ

2. 三つ首海賊団シユナウザー

3. 森林のセツコーキジ

コアチャージ

「神託対象、つまり系統：剣獣／界渡／化神を持つコスト3以上のス

ピリットはボルゾイとシユナウザーの2体なのでボイドからコア二

個をヘルメスの上に置くぜ」

創界神ヘルメスLv1(0↓2)

「ほー、お前のデツキなんか見えない間によくわからんことになってん

な。昔は緑単ばっか使ってたのにな」

「ここ最近の良い感じの剣獣・異合のスピリットが増えてるからな。

シユナウザーもLv2になれば緑になるから問題ねえし。さて、バー

ストセットしてターンエンドだ」

《アキラ》

Life 5

Hand 2

Reserve 0

Trash <5>

Burst ??



Field

創界神ヘルメスLv1(2)

ヘルメスの竜巻神殿Lv1(0)

「そいつら入れるんだったらセツコーキジとルリ・オーサ要らなくね？別に赤にタツチする理由ねえだろ」

「まあまあ、それは後のお楽しみみてヤツだぜ」

「なんだソレ。まあいいや、スタート、コア、ドロロー、リフレッシュ、メイン。軽減無し3コスト、モダニック・ドラゴン召喚、Lv1。そんでバーストセットしてアタックステップ、エンドステップまで」

モダニック・ドラゴン Lv1<1>

《カゲト》

Life 5

Hand 3

Reserve 1

Trash 3

Burst ??

Field

モダニック・ドラゴンLv1<1>

「モダニックかー。放置しとくとめんどくせえが… スタート、コア、ドロロー… うーむ。リフレッシュ、メイン。3コスト1軽減2コスト、王獣一族タケノコドコドをLv1で召喚。召喚時効果でボイドからコア一個をリザーブに、そんで神託対象が召喚されたのでボイドからコア一個をヘルメスの上に置く。召喚時効果発揮後バーストは？」

《アキラ》

王獣一族タケノコドコド Lv1<1>BP3000

創界神ヘルメスLv1(2↓3)

「ないぜー」

「5コスト3軽減2コスト、英雄獣 老将タイガー・ネストール召喚、召喚時効果でボイドからコア二個を自身の上に置き、更に相手のトラッシュのカードを全てゲームから除外する… がなんもねえな。」

そしてまたまたヘルメスの神託<sup>コアチャージ</sup>發揮だな。バーストある？」

《アキラ》

英雄獣 老将タイガー・ネストールLv1↓2 (1↓3)

創界神ヘルメスLv1 (3↓4)

「ねーよー」

「んじや続ける。ヘルメスの神技<sup>グランスキル</sup>發揮。ヘルメスの上のコア3個をボイドに置き、手札を一枚以上破棄して3枚ドロするぜ、手札増加<sup>グランスキル</sup>後・神技發揮後は？」

《アキラ》

創界神ヘルメスLv1 (4↓1)

破棄：突の爆獣グリズクラツシュ

「あ、じやあそこでバースト發動、エグゾーストエンド。今増えた手札1枚につきボイドからコア1個を自分のリザーブに置く。よって三個置く。そしてその3コアでフラツシュ効果發揮、相手の手札2枚につき一体だから一体だけか…タイガー・ネストール疲労で」

「へーい。つと、グリズクラツシュは自分の効果で手札から破棄されるとき、代わりにノーコストで召喚できるから、そのままトラツシュに置かず召喚だ。コスト踏み倒しに対してなんかある？」

《アキラ》

突の爆獣グリズクラツシュLv1 (1)

「ファツ!?ええ… ナアニソイツウ…。ないぞー」

「んじやタイガー・ネストールをLv1にダウンし、タケノコドコドをLv2に。タケノコドコドLv2効果は相手ターンに相手の手札が相手の効果で増えた時、増えた枚数だけコアブーストできるってものだ」

《アキラ》

英雄獣 老将タイガー・ネストールLv2↓1 (3↓1)

王獣一族タケノコドコドLv1↓2<1↓3>

「えっナニソレ聞いてない」

「今言ったからな！H A H A H A！アタックステップ、グリズクラツシュでアタック。Lv1BP7000、シンボル1だ。フラツシュは

「？」

「んー。無いぞ」

「こつちも無いぜ」

「んじやライフで受けるー」

《カゲト》

Life 5 ↓ 4

「古竜相手はあんまコア増やしたくねえし、これでターンエンドかな」

「お？さっきの試合引き摺ってんの？w」

「い、いやそんなんじやねえしい!?今回は手札めっちゃ良いしい!?」

「動揺しすぎだろwww」

「うるせえ、お前のターンだぞあくしろよ!!」

「へいへーいw」

《アキラ》

Life 5

Hand 3

Reserve 0

Trash 4

Burst ??

Field

王獣一族タケノコドコド Lv2 < 3 > 回復

英雄獣 老将タイガー・ネストール Lv1 (1) 疲労

突の爆獣グリズクラッシュ Lv1 (1) 疲労

創界神ヘルメスLv1 (1)

ヘルメスの竜巻神殿Lv1 (0)

「うーん、どうすっかなコレ。：スタート、コア、ドロー、リフレッシュ、メイン。：よし。モダニックは自分のメインステップで古竜を召喚するとき赤シンボル3つにできるから、3コスト2軽減1コスト。暴龍王ネロ・ドラグディウスをLv2で召喚」

《カゲト》

暴龍王ネロ・ドラグディウスLv2 (3)

「そして自分のメインステップ時、系統・龍帝を持つスピリットを召喚

するとき、ネロを疲労させることでリザーブから3コストまで支払ったものとして扱える。8コスト3軽減5コスト、ネロを疲労させて3コスト支払ったものとして扱い、残り2コスト支払って五賢龍帝ピウスをLv2で召喚、本来のコストを支払って召喚したため召喚時効果発揮、BP合計15000まで相手のスピリットを好きなだけ破壊できる！BP5000のタケノコドコドと…うーん、BP7000のグリズクラッシュを破壊するぜ。あと1000上限がありや全滅させられたんだがな…破壊時や召喚時効果発揮後ある？」

「ねえよー」

《カゲト》

暴龍王ネロ・ドラグデウスLv2 (3) 疲労

五賢龍帝ピウスLv2 (2)

「系統：龍帝を持つスピリットが召喚されたからネロの効果で1ドローするぜ、手札増加後ある？」

「おつ。あるぜ、相手の効果で相手の手札増加後。バースト発動、黒王獣コク・ガロウ！旋風：2でネロとピウスを重疲労させるぜ」

「うわー、マジか。ん？重疲労ってなんだよ」

「重疲労はカードを逆さにした状態で、一回の回復で疲労状態になる。旋風ってのは要は暴風の進化系みたいなもんだ。旋風の発揮条件は暴風と違ってバラバラだけど」

「なるへ。カシオペアシールよりはマシだけど厄介な…。ピウスとネロを重疲労っと」

《カゲト》

暴龍王ネロ・ドラグデウスLv2 (3) 重疲労

五賢龍帝ピウスLv2 (2) 重疲労

「んでコク・ガロウはそのままバースト効果で召喚、Lv2だ。あとヘルメス神託」

《アキラ》

黒王獣コク・ガロウLv2<3>

創界神ヘルメスLv1 (1↓2)

「モダニックのソウルコアとピウスのコア一個を入れ換え、ネロをL

v1にダウン、4コスト2軽減で百識の谷をLv1で配置、バーストセツトしてアタックステップ。何もせずにエンドステップまで」

《カゲト》

Life 4

Hand 1

Reserve 1

Trash 5

Burst ??

Field

モダニック・ドラゴン Lv1(1)

暴龍王ネロ・ドラグデウス Lv1(1) 重疲労

五賢龍帝ピウス Lv2<2>重疲労

百識の谷 Lv1(0)

「H A H A H A!どうよ重疲労の味は」

「いやあ、かーなーリーキツイわ:」

「だろろうなwサーセンww」

「お前さっきのことでやり返してるだろ」

「ナンノコトカナ、スタート、コア、ドロ、リフレッシュ、メイン。」

「1コスト1軽減0コスト、森林のセツコーキジをLv1で召喚、4コ

スト3軽減1コスト、<sup>セクスタント</sup>六分儀剣のルリ・オーサLv2で召喚、召喚時

効果でボイドからコア1個ずつを自分の赤のスピリットの上:

まあセツコーキジとルリ・オーサの上に置く。召喚時効果発揮後は

？」

《アキラ》

森林のセツコーキジLv1↓2(1↓2)

六分儀剣のルリ・オーサLv2(2↓3)

「無いぜ」

「OK、増えた2コアで5コスト3軽減2コスト、ネオ・ハンドリバー  
スを使用。1枚破棄して3枚ドロ、手札増加後は？」

破棄：忍煌龍ジークフリード・兎雷也

「うん、無い」

「おつしや、4コスト2軽減2コスト、コク・ガロウのソウルコアを支払いに使ってドラグノ祈祷師(RV)をLv1で召喚。召喚コストにソウルコアを用いた場合の召喚時効果でトラッシュの系統・古竜を持つスピリット、まあさつき破棄した児雷也をトラッシュからLv1で召喚する。維持コストもコク・ガロウから確保。召喚時効果発揮後、またはコスト踏み倒し、もしくはその両方になんかある?」

《アキラ》

黒王獣コク・ガロウLv2↓1<3↓2↓1)

ドラグノ祈祷師(RV) Lv1(1)

忍煌龍ジークフリード・児雷也Lv1(1)

「いや、ねえよ。っーかなんだドラグノ祈祷師のリバイバルって。譲ってもらって言うのもなんだが貰ったヤツの中にも無かったぞそれ。そのジークフリードも無かったけど!!」

「まあ手札交換激しい都合上役に立つかなくなって挿してんだわ。お前に渡してないのは入れた分しか手に入っていないからで、児雷也は使うから(無慈悲)」

「…っ!…っ!…っ!!いや、うん、仕方ねえわ、仕方ないな、使うんだもん…あとでシングル買うわ」

「おう、そーしろ。じゃ、バーストセットしてアタックステップ。児雷也でアタック。Lv1BP10000、シンボル1。アタック後は?」

「じゃあピウスのLv2・3効果発揮、自身を戻してそのBPまで好きだけ破壊、つまりBP合計8000まで相手スピリットを破壊する。対象はドラグノ祈祷師、ルリ・オーサ、セツコーキジだ」

《カゲト》

五賢龍帝ピウスLv2<2>BP8000(手札へ)

《アキラ》

ドラグノ祈祷師(RV) Lv1BP2000+六分儀剣のルリ・オーサLv2BP5000+森林のセツコーキジLv1BP10000||BP8000

「OK、フラッシュは?」

「じゃあフラッシュユタイミング、不足はネロから確保して白晶防壁！  
児雷也を手札に戻して貰おうか。更に支払いにソウルコアを使用し  
たのでこのターンの間、俺のライフは1しか減らない」

《カゲト》

暴龍王ネロ・ドラグデウス Lv1↓0 (1↓0) 消滅

《アキラ》

忍煌龍ジークフリード・児雷也Lv1(1) 手札へ

「チッ、良いもん引いてやがんな、コク・ガロウでアタック。Lv1B  
P6000、シンボル1だ」

「ライフで受けてバースト発動、龍の霸王ジーク・ヤマト・フリード！  
ライフ3以下だからBP15000以下の相手スピリット一体を破  
壊…コク・ガロウを破壊して、そのままLv1で召喚だ」

《カゲト》

L i f e 4↓3

F i e l d

龍の霸王ジーク・ヤマト・フリードLv1(1)

「ぐぬ、お前マジで引きどうなってるんだよ」

「はっはっはーw知らね。」

「タイガー・ネストールではアタックしない… エンドで」

《アキラ》

L i f e 5

H a n d 2

R e s e r v e 6

T r a s h <5>

B u r s t ??

F i e l d

英雄獣 老将タイガー・ネストール Lv1(1) 回復

創界神ヘルメスLv1(2)

ヘルメスの竜巻神殿Lv1(0)

「これ見よがしに祈禱師使うからんなことになってんのわかってるう  
!?!さつきと一緒だねえ!!」

「…」（唇を噛み締めている）

「ふはは、声も出ねえか！スタート、コア、ドロ…：百識Lv1効果で＋1枚ドロして一枚破棄のリフレッシュ、メイン！」

破棄：五賢龍帝ピウス

「すごいやアクセルとかチェンジとか、新しいキーワード効果については特に聞いて来なかったよなお前。あと煌臨のことも」

「まあその辺はざっと調べたからな。なんとかなってる」

「そうか。ちったあ予習してきてたんだな」

「当たり前前だろ？お前のお陰でデッキの組み直しもスムーズだったし感謝はしてるが、勝負の行方はまた別だ。モダニックのシンボル増加で軽減確保、7コスト3軽減4コスト、焰竜魔皇マ・グー、Lv1で召喚」

《カゲト》

焰竜魔皇マ・グーLv1<1>

「更に7コスト4軽減3コスト、魔帝龍騎ダーク・クリムゾン、Lv1で召喚。召喚時効果によりデッキトップを7枚オープン、その中の系統：龍帝を持つスピリットカードをコストを支払わず、転生させずに召喚できる」

1. 五賢龍帝ネルウア
2. モダニック・ドラゴン
3. 絶甲氷盾
4. 五賢龍帝アウレリウス
5. 焰竜魔皇マ・グー
6. 五賢龍帝ピウス
7. 千識の渓谷

「よし、五賢龍帝アウレリウス、五賢龍帝ネルウア、五賢龍帝ピウスをLv1で召喚、維持コスト確保のためモダニックは消滅させるぜ。そんで残りは破棄する。召喚時効果発揮後、またはコスト踏み倒しに対してなんかあるか？」

《カゲト》

モダニック・ドラゴン Lv1↓0（1↓0） 消滅



魔帝龍騎ダーク・クリムゾン Lv1(1)

五賢龍帝アウレリウス Lv1(1)

五賢龍帝ネルウア Lv1(1)

五賢龍帝ピウス Lv1(1)

「… ねえよ」

「じゃあバーストセットしてアタックステップ。マ・グーの効果で系統：竜人／古竜を持つ自分のスピリットをBP+3000、更にアタックステップ開始時、トラッシュのコアを好きなだけ自身に置く。これでLv3になったため系統：古竜を持つ自分のスピリット全てに赤のシンボルをひとつ追加する」

《カゲト》

Trash 7↓0

焰竜魔皇マ・グー Lv1↓3<1↓8>

「アウレリウスでアタック、Lv1BP10000+3000で13000、トリプルシンボル」

「アタック後無し、フラッシュ無いぞ」

「こつちもない」

「ライフで受けてバースト発動、選ばれし探索者アレックス！バースト効果で召喚し、更に1枚ドロワーしてアタックステップを終了させる！」

《アキラ》

Life 5↓2

選ばれし探索者アレックス Lv2(2)

「んなつ…！アレックスか…！」

「ああ、アレックスだぜ… なんとか凌げたか…」

「チツ、エンドステップだ」

《カゲト》

Life 3

Hand 0

Reserve 0

Trash 4

Burst??

Field

龍の霸王ジーク・ヤマト・フリード Lv1(1)

焰竜魔皇マ・グー Lv3<8>

魔帝龍騎ダーク・クリムゾン Lv1(1)

五賢龍帝アウレリウス Lv1(1) 疲労

五賢龍帝ネルウア Lv1(1)

五賢龍帝ピウス Lv1(1)

「くつそ、うぎつてえ… スタート、コア、ドロー、リフレッシュ、メイ…」

「… よし、バーストセット。アレックスはシンボルを全色として扱えるから4コスト2軽減2コスト。三つ首海賊団シユナウザー、Lv1で召喚。剣獣が召喚されたのでヘルメスの神託<sup>コアチャージ</sup>発揮」

三つ首海賊団シユナウザー Lv2(1)

創界神ヘルメス Lv1(2↓3)

「そこでタイガー・ネストールをLv2にアップ」

英雄獣 老将タイガー・ネストール Lv1↓2(1↓3)

「いくぜアタックステップ！タイガー・ネストールでアタックだ。BP9000、シンボル1。Lv2アタック時効果でリザーブから1コスト支払って回復する。更にシユナウザーのアタックステップ効果で、異合／剣獣を持つ自分のスピリットがアタックしたからそのコスト以下のスピリット一体を破壊… はいねえな。緑シンボルがあるので連鎖発揮、ボイドからコア1個をリザーブに置くぜ。アタック後とかフラッシュがある？」

「どつちもねえぞー」

「ならフラッシュ、《煌臨》！煌臨条件は緑・コスト5以上。ソウルコアをトラッシュに置いて煌天凰ジオ・シルフィードをタイガー・ネストールに重ねる。そして煌臨時効果発揮、手札の煌臨を持つスピリットカード三枚までを踏み倒せる。児雷也と天帝ホウオウガ(RV)をそれぞれLv2で召喚！そして残りの手札全てを破棄して相手の手

札の枚数と同じだけドロローする。まあ0枚破棄0枚ドロローだが。更にホウオウガの召喚時効果・旋風：3発揮！お前のスピリット三体を重疲労させる。対象はマ・グー、ヤマト、ピウスで」

《アキラ》

煌凰天ジオ・シルフィード Lv2 (3) BP13000 (英雄獣)

老将タイガー・ネストール) 煌臨中・回復

忍煌龍ジークフリード・児雷也 Lv2 (3) BP13000

天帝ホウオウガ (RV) Lv2 (3) BP16000

「おけーい、っーかなんだこの今引き感…踏み倒し無し、バースト無し、フラッシュ無しで」

《カゲト》

龍の霸王ジーク・ヤマト・フリード Lv1 (1) 重疲労

焰竜魔皇マ・グー Lv3 < 8 > 重疲労

五賢龍帝ピウス Lv1 (1) 重疲労

「こつちもフラッシュは無いぜ」

「しやーない、ライフだ」

《カゲト》

L i f e 3 ↓ 2

「ライフ減少によりバースト発d「待てや」何だよ？」

「ジオシルフィードの自分のアタックステップ効果で《煌臨》を持つ自分のスピリットがアタックしてる間バーストは発動できねえぞ」

「ヴェツ!?マジかよ…」

「いくぜ、ホウオウガでアタック。フラッシュは？」

「無い」

「こつちもないぞ」

「はー…ダーク・クリムゾンでブロック。ブロック後フラッシュ無いぜ」

「こつちも無い」

天帝ホウオウガ (RV) Lv2 (3) BP16000 (勝)

v s

魔帝龍騎ダーク・クリムゾンLv1 (1) BP6000 (負)

「続けてジオ・シルフィードでアタック」

「フラッシュ無いぞ」

「こつちもないぜ」

「ぐぬ、ネルウアでブロック。こちらフラッシュ無し」

「こつちもない」

煌天凰ジオ・シルフィードLv2 (3) BP13000 (勝)

vs

五賢龍帝ネルウアLv1 (1) BP6000 (負)

「兇雷也でアタック。フラッシュは？」

「無い」

「ではこちらフラッシュ、兇雷也のお互いのアタックステップ効果でホウオウガを兇雷也の煌臨元に追加して兇雷也は回復する」

忍煌龍ジークフリード・兇雷也Lv2 (3) (天帝ホウオウガ) 煌臨中 回復

「こつちなんも無いんでライフで受ける。バーストもどうせ発動できないし次のアタックもなんもない、一思いに殺ってくれ」

《カゲト》

Life2↓1

「へいへーい、もう一度兇雷也でアタック、フラッシュでアレックスを煌臨元に追加して回復」

忍煌龍ジークフリード・兇雷也Lv2 (3) (選ばれし探索者アレックス、天帝ホウオウガ) 煌臨中 回復

「ライフで受ける」

《カゲト》

Life1↓0

《Congratulation! Winner:アキラ》

「ぐおお・・・ 負けたあ・・・ そのデッキやること無茶苦茶過ぎんよ、異合はともかくなんで剣獣なのに殻人だの爪鳥だの竜人だの古竜だのが飛んでくるんだよ、おかしいだろ」

「はっはー、コレこないだお遊び構築にしたままだったの忘れてたんだよ (真顔)」

「エツ：．．一戦目俺が勝てたのってそういう：．．？」

「そうなるな（瞑目）」

「畜生めー!!!次はガチ構築のおめーに勝ってやるからな！」

「やってみろ、焰・帝・閣・下ア？」

「は：．．？お前なんで急に昔の通り名出してくんだよ」

「いやなんとなく。黒歴史的扱いしてたらダメージ入るかなあつて」

「流石に黒歴史じゃないかなあ：．．お前や皆とゴリゴリバトスピして  
た時の通り名だしさ」

「そうか。ならさつさと通り名に恥じないように実力つけ直せよな  
？」

「おうとも」

---

バトルスピリッツ 獄焰 第二話 了。

### 第三話 魔王 VS 龍神

突然だが——今日は。待ちに待った休日である。

最近はず日に人があんな来ない、つてのを先日、あのコテンパンにやられたバトルのあとにアキラから聞いた。

だから今回は休日に、こうしてカードショップに足を運んできた。一応アキラと約束したし、アイツも既に来てるかその内来る筈だ。

「おおー…こないだの閑散とした店内が嘘みてーだ」

本当に、あの静けさが嘘のようだ。バトルスペースはかなり埋まっております、パツクを開封してる人や、仲間でデッキを広げて構築を相談している子供たち、そして楽しげにバトルしている人で溢れている。「うん、やつぱこうじゃねえとな。へへ、なんかこう、『戻ってきた』って感じで気分アガってくんな」

さて、どうしようか。見たところアキラは居ないようだ。その辺のバトルにフリー対戦申し込んでみようか、それともSB… ショップバトルに参加してみようか。

悩ましいな、本当に…！とりあえずパツクいくらか買って適当な席に座るとしよう。

「…よし、開封といくか」

少し前の章の弾を一つずつ。計四パツクを前に、少々気分が上がる。まとめ買いや箱買いとはまた違ったドキドキ感がバラ買いの魅力のひとつだよなあ…。

1 パツク目… うーむ、目ぼしいものは無しか…。

2 パツク目… お？これは… RVか。良いな、懐かしいし効果も環境に合わせられてる。レアリティは下がったが全然強い、寧ろこれこそ赤だ。後で調整してねじ込もう。

3 パツク目… ふむ。キャンペーンXか。まあ赤だし上等だろ。古竜じゃないのはしやーねえや。

4 パツク、目…！？

「コイツは…！」

燦然と輝くXの文字、カードナンバーは堂々のX01。

「うお、マジか…！お前が来てくれるなんてな… 早速組み込まないとー！」

えーと… コイツの煌臨条件的に… ならアイツらが欲しい。で、アイツらと相性が良いヤツといえは調べた限りじゃああの六体か。ふむ… とりあえずシヨーケースとファイル見てみるか。コイツもあと二枚買わなきゃな…！

「よし、いやあ… 良かった良かった。とりあえず赤紫の方向で調整してみるかな。今回は初めての煌臨軸だが、使うヤツらのそこまで問題は無い、はず…」

「よっ、カゲト。遅れてすまん」

「… んお、よう、アキラ。今ちよつとコイツをメインにした構築考えてるんだが、意見貰えねえか？」

「ん？どれどれ… ああ！コイツね、お前やっぱ浪漫に行き着くのな」「さつきパック適当に買ったら来てくれたもんでな… やっぱ運命感じるじゃん？」

「ははは、乙女チックなことを抜かしおる。とりあえずコイツなんかいんじやね？」

「うるせえ、お前も運命感じたことくらいあんだろ！ん、どれだ？」

——1時間後——

「よし、できた。ありがとよアキラ」

「お前の財布が磨り減っただけだ、礼は要らん」

「まあそうだけだよ。じゃあ試運転だ、相手頼める？」

「おう、良いぜ。今回はきっちり真面目な剣j… なんだ？」

自動ドアが開いて入店してきた男。なんでアキラが振り返ったのか？それは至って簡単だ。その男が何故だか知らんが格好つけてハーモニカを演奏しながら入ってきたから。それだけだ。

「… 満○先生のファンか？」

「いやいやいや、○足先生は畑が完全にちげーだろバカ」

「んじや何なんだよアレ… ハーモニカ吹くようなヤツが登場する作品なんざ知らねえぞ」

「… あ、思い出した。ウルトラマンじゃねーかな。ウルトラマンオーブ。確か主人公がハーモニカ吹いてた気がする」

「… ええ、イタタタタ… 流石に吹きながら入店は無いだろ…」  
等とひそひそ話してたら、その男がこっちに来やがった。

「なあ、あんたら。さっき満足○生とか言ったな？失礼な!!これはウルトラマンオーブの主人公、クレナイ・ガイのリスペクトだ!」

「そりゃ悪かったな… 俺にとつてのニチアサは7:00に始まって7:30には終わってたし。それ以外のアニメも特撮もあんまり見なかったもんでな、疎いんだ」

事実である。スーパーな戦隊も仮面なライダーも、プリティでキュアキュアなヒロインのアニメもあんまり見たことがない。子供の頃はアニメとか特撮とかそつちのけでバトスピやってたし、ここ最近までは勉強で忙しくて見る暇なんざなかったし。アニメネタなんかに関しては周りからの刷り込みだし…。

「む、ぐぐぐ… あ!初対面なのに失礼した、俺はシュウヤ。真木シュウヤって言うんだ」

「いや、良いよ。気にしてねえから。俺は神田カゲト。使用デツキは主に龍帝・古竜。ついこないだ復帰したばっかなんだ」

「あ、俺は宍道アキラ。使用デツキは主に剣獣。まあ緑なら結構なんでも使うけど。で、シュウヤ… だっけ?あんたは何使うの?」

「あ、俺も一応古竜… かな。ウルトラマンがバトスピとコラボしてるって最近知って始めたんだ」

「へえ。古竜… 俺の知らない古竜… へえ… ふうん… ほほお…」

「おいカゲトやめろ。気持ち悪い」

「… ああ!すまん。急で悪いんだけど、お前さんのデツキに興味あるんだ、一回バトルしてくれねえか?」

「エツ。アツハイ、良いっすよ」





火魔神Lv1(0)

「俺のターン。スタート、コア、ドロ、リフレッシュ…メイン。成程…バーストセットして軽減無し4コスト、タワーに集まる邪悪を配置！」

配置されたネクサス。現れるは――

「…え？東京タワー？」

「そう、タワーに集まる邪悪は東京タワーだ！」

「ほげー…今にも壊れそうだな」

「ははは…バーストセットしてアタックステップ、エンドステップ」  
《カゲト》

Life:5

Hand:5↓3

Reserve:<5>↓<1>

Trash:0↓4

Burst:??

Field:

タワーに集まる邪悪Lv1(0)

「スタート、コア、ドロ、リフレッシュ、メイン。軽減無し3コスト、二月幼候レギフ・ギウム・キッズをLv1で召喚！」

二月幼候レギフ・ギウム・キッズLv1(1)

小さめのアメジストの結晶から六角形のアメジストを持った幼き  
誕晶神が現れ、その力でデッキの上から四枚が開かれる。

「召喚時効果によりデッキトップを四枚オープン」

オープン:煌雷帝エール・クレル 煌闇帝オプス・キュリテ 龍の  
覇皇ジーク・ヤマト・フリード(RV) J

「その中の紫の《煌臨》を持つスピリットカード一枚を手札に加え、残りはデッキの下に戻す。オプス・キュリテを手札に加え、残りはそのまま下へ」

オプス・キュリテのカードを掴み取り、残りはデッキの下へ戻って

いく。

「あ。そこでバースト発動、双翼乱舞！2枚ドロ。メイン効果は使いませんわ」

「了解。いくぜ、レギフ・ギウム・キッツを火魔神の右側に合体<sup>ブレイク</sup>。そして…レギフ・ギウム・キッツの力で、ターンに一回、紫の煌臨を持つスピリットを自分のメインステップに煌臨できる！」

二月幼候レギフ・ギウム・キッツLv1(1)＋火魔神 コスト3  
＋4

「闇帝よ！転召より昇華し煌臨せよ！」

背後より暗き輝きが飛び立ち、異魔神の力を得た幼き誕晶神も呼応するように跳躍する。

「煌闇帝オプス・キュリテを…合体スピリットに煌臨！」<sup>ブレイク</sup>

宣言と共に、オプス・キュリテを合体スピリットに重ねる。

同時に暗き輝きと幼き誕晶神の姿が重なり、輝きは失せて、不吉なる黒き龍の帝が現れる。

煌闇帝オプス・キュリテLv1(1) 煌臨中(二月幼候レギフ・ギウム・キッツ)

火魔神Lv1(0) 合体条件を満たさなくなったので分離

「煌闇帝は系統・誕晶神を持つスピリットに煌臨するとき、ソウルコアをトラッシュに置かず煌臨できる。煌臨時効果は意味がないので発揮しない」

「9コストが先攻2ターン目で…!？」

「おうよ、だが！驚くのはまあ早いぜ？」

「…え？まだあるの…？」

「当然。六色の輝きよ！今こそ集いて極光となれ！」

今度こそリザーブのソウルコアがトラッシュへ置かれ、背後から六色のジークフリードの姿をした光が、そしてフィールドの煌闇帝が飛翔する。

そして——煌闇帝と六色の光が重なり、極彩色の光を放つ！

「六色の龍皇集う時、世界は奇跡に包まれる。煌臨せよ、救世の龍！創龍神グラン・ジークフリード！」

光を裂いて現れ出でしは… 圧倒的な存在感を放つ、それこそ『龍神』としか表現できない神々しさを纏った龍であった。

「…　　ゝゝゝっ!!宜しくな、グランジーク」

そう呼び掛けると、グラン・ジークフリードも応えるように咆哮した。

「な…　　こ、コスト12い…　　!?!」

「へへ、そう。初御披露目なんだ。いくぜアタックスステップ!グランジークでアタック!BP15000、トリプルシンボル!」

「出てくるのが早すぎる…　　!フラッシュタイミング!タワーに集まる邪悪Lv1・Lv2効果!手札の『魔王獣』スピリットを破棄することで、そのアタック時効果を発揮させる!大魔王獣マガオロチを破棄してそのアタック時効果でBP5000以下の相手スピリット2体…　　火魔神を破壊!」

赤い光を纏う東京タワーから放たれた光が、竜の姿をとって火魔神を破壊した。

「さらに破壊したスピリット1体につき1枚ドロ…　　!」

「それがどうした!グランジークは健在だぜ!?!」

「つく、ライフで受ける!」

「グランジークはトリプルシンボル、よってライフ三つ、貰い受ける!」

創龍神の一撃が、一気にシュウヤのライフを三つ削り取る。

《シュウヤ》

Life5↓2

「アタックスステップ終了、エンドステップだ」

《カゲト》

Life:5

Hand:4↓2

Reserve:<4>↓0

Trash:0↓<4>

Burst:??

Field:

創龍神グラン・ジークフリードLv1(1) 疲労

「マガゼットン引けてれば破壊できたのに…！スタート、コア、ドロ―！リフレッシュ、メイン…バーストセットして…1軽減3コスト、無幻魔人ジャグラス ジャグララー(魔人態)をLv1で召喚！そして召喚時効果でデッキトップ五枚をオープンし、その中の魔王獣を一枚手札に加える！」

無幻魔人ジャグラス ジャグララー(魔人態) Lv1<1>

赤黒い剣を携えた、黒い怪人が現れる。そして彼がその剣を振るえば、デッキトップから五枚が開かれる。

オープン：風の魔王獣マガバツサー 超大魔王獣マガタノオロチ

マガタノ迅雷 水の魔王獣マガジャツパ 五賢龍帝ハドリアヌス

「…うーん、マガバツサーを手札に加えて残りは破棄で」

「うん、じゃあそこでバースト発動かな。こつちも双翼乱舞！2ドロ―させてもらう」

「むぐ、2軽減1コストで風の魔王獣マガバツサーをLv1で召喚」

風の魔王獣マガバツサーLv1(1)

全身が青い羽毛か何かに覆われた、鳥のような怪獣が現れる。

「ジャグラスをLv2にアップしてアタックステップ、マガバツサーでアタック。アタック時効果で1枚ドロ―。Lv1、BP2000」

「フラッシュ無いぜ」

「こつちもないっす」

「ライフで受ける！」

マガバツサーの急降下攻撃でライフを1つ削られる。

《カゲト》

L i f e : 5 ↓ 4

「追撃したところか… エンドステップ」

《シュウヤ》

L i f e : 2

H a n d : 6 ↓ 6

R e s e r v e : < 9 > ↓ 1

Trash:0↓4

Burst:??

Field:

無幻魔人ジャグラス ジャグラー(魔人態) Lv2<3>

風の魔王獣マガバツサーLv1(1) 疲労

「スタート、コア、ドロ、リフレッシュ、メイン。宣言しよう、これがファイターなんだ！グランジークにコアを二個乗せ、軽減無し4コスト、マジック・ライフドリームを使用！このターンの間、自分の黄のスピリット全てに『このスピリットのアタック時 自分のライフのコア一個をこのスピリットの上に置くことで、このバトルの間、このスピリットはブロックされない』を与える」

「なっ…!?そうか、グランジークは全色のスピリットだから…！」  
「その通り！アタックステップ！グランジークでアタック、アタック時に俺のライフのコア一個を置くことでこのバトルの間ブロックされない！」

創龍神グラン・ジークフリードLv2↓3<3↓4>BP2000  
0↓25000

俺のライフの加護を得て、創龍神が虹色の光に包まれる。

「ぐ、くっ… ライフで受ける！」

「ありがとうございます、いいバトルでした… なんてな。またバトルしてくれよな！」

「今度は特撮ファンとして絶対に負けないからな…！ぐっ、うわああっ!!」

創龍神の一撃が、シュウヤのライフを全て奪いきった。

WINNER:神田カゲト

Congratulations!!

「ふう… 対戦ありがとう、シュウヤ君」

「ごちそうさ。あ、シュウヤで良いんで」

「じゃあこつちもカゲトで良いよ」

「え、いやあ… 遠慮します」

「なんでだよ…」

「うーん… なんとなく…？」

「ええ… にしても魔王獣って面白い動きすんのな」

「タワーに集まる邪悪のフラッシュ効果でアタック時効果使ったり、切り札でアタック時効果てんこ盛りにしたりするのがこのデツキの特色なんで…」

「はえー… たまげたなあ、マジかよ」

「マジです。こつちこそあんなポンポンデカイの煌臨されてびっくりさせられたんですがあ…」

「まあそういうデツキだからね、諦メロン」

「マジでマガゼットン引けてればなああ…！」

「マガゼットンは何すんの？」

「アタック時効果で15000以上を破壊して破壊できなきやードローする」

「え、それ東京タワーで撃つと強くね？」

「それがしたかったけど引けなかったんで負けましたあー」

「あ、そういう…」

バトルスピリッツ 獄焰 第三話 了。

## 第四話 獄炎 V S 冥王

今日はSB……ショップバトルに復帰後初参加ってなワケで、アキラといつものように煽り合いながらエントリーした。

それで、トーナメント表なんだが、アキラとはもう見事なほどに位置が真逆でな？決勝まで進まなきゃ戦えないってんで軽口叩き合っ  
て別れたワケなんでーすーがー……。

「やあ、カゲト君。君とこうしてSBで対戦するのも随分と久しぶりだね」

「……そつすね、店長……いや、ウタさん」

アキラと「決勝で会おう!!」的な約束したのがフラグとなったのか、初戦から店長ことバトラー名『ウタ』さんとの対面になってしまった。スイスドロ形式ではなくリーグ形式の一本先取で店長に勝つのは、昔から店長に負け越しまくってる俺では現実味が無い、というか復帰直後で店舗環境の把握もままならない俺が勝てる可能性はかなり低い気がする。

「君も復帰後初のSBだし、何より今回使うデッキはファン構築だから、気楽に……とは言えないがそんな鬱々とした『はー負け確じゃん』みたいな顔をしないでほしいのだがね……?」

「……すみません、顔に出てました?……それじゃ、胸を借りさせて貰います」

「ああ、出ていたとも。全く、私を何だと思っているのやら……ああ。かかってきたまえ」

「ゲートオープン!界放!」

「コイントス結果は表なんで俺の先攻ですね。スタート、ドロ、リフレッシュ、メイン。召喚条件はライフ2以上、軽減無し3コストでビートルゴンを召喚。バーストセットしてメインステップ終了、エンドステップ、ターン終了」

Turn 1 End

《カゲト》

Life 5



Hand 4+1↓3

Reserve 0

Trash 3

Burst ??

Field

ビートルゴン<1>LV3

「ほう、ビートルゴン……赤緑アルティメットかね？」

「さあ？どうでしょうかねえ」

「ふつ、まあ良いだろう。では私のターン。スタート、コア、ドロ、リフレツシュ、メイン。軽減無しの0コストで魂鬼たまおにをLV1で召喚。バーストセット。更に1軽減2コストで旅団の摩天楼をLV1で配置、配置時効果で1ドロワシ。バーストはあるかね？」

《店长》

魂鬼たまおに

旅団の摩天楼(0) LV1

Hand 5 ↓ 3

Burst ■

「いーえ、無いです」

「ふむ……ならば2軽減1コストでシキツルを召喚。召喚時効果で1ドロワシだ」

《店长》

シキツル(1) LV1

「ではここでバースト、双翼乱舞。スピッツアーかなんかあります？」

「双翼乱舞……ビートルゴンを見たものだからてつきりグランドローかメタリフェルあたりかと思っただがアテが外れたな。スピッツアーは無いよ、解決したまえ」

「了解、バースト効果で2枚ドロ、メイン効果はコスト不足により使えません。そちらも何かありますか？」

《カゲト》

Hand 3 ↓ 5

「特にない。ではこれでメイン終了、アタックステップ、エンドステップまで。君のターンだよ」

Turn 2 End

《店長》

Life 5

Hand 3

Reserve 0

Trash 3

Burst ??

Field

魂鬼<1>Lv1

シキツル(1)Lv1

旅団の摩天楼(0)Lv1

双翼乱舞に少し意外そうな顔をされたが、何事もなくターンは帰って来た。多分魂鬼から出したのもそういう読みからだろうが、殴ってこないところを見るに違うのかね？とにかく宣言通り紫速ではないのかもしらんな。……魂鬼にシキツル、摩天楼ときてそれは少々不気味だが。

「んじゃターン貫きます。スタート、コア、ドロ、リフレッシュ、メイ。まずはビートルゴンをLv4にアップして、Lv4『自分のメイステップ』効果により自身に赤と緑のシンボルをそれぞれ一個追加。3軽減1コストで邪神域をLv1で配置し、更に召喚条件は自分のライフ2以上。2軽減1コストでバーゴイル召喚。召喚時効果でボイドからコア一個を自身に置きます。なんかありますか？」

《カゲト》

Hand 6↓4

Reserve 0↓1↓4↓1

ビートルゴン<1>↓2>Lv3↓Lv4 シンボル：極+赤緑

邪神域(0)Lv1

バーゴイル(1+1)Lv3

「なんだ、やはり赤緑アルティメット……『ブラムザンド』じゃないか。バーストはないよ」

「ま、そいつも古竜……ですからね。懐かしきマグーステロイドを思い出すので嫌いじゃないですよ、こいつら」

「確かに。当時私は主に【不死】を使っていたが、アレは中々キツイ相手だった」

「そう言いつつも俺のマグーステロイド完封してたじゃないですか……っと、続けます。2軽減2コストでネオ・ダブルドローを使用。コスト確保のためビートルゴンはLv3にダウン。二枚ドローして、自分のアルティメットがいるため更に一枚ドロー。バーストあります?」

《カゲト》

Hand 4↓6

ビートルゴン<2↓1>Lv4↓Lv3

バーゴイル(2↓1) Lv3

「ふむ……いや、無いな」

「んー、ではバーストセットしてアタックステップ、エンドステップ。ターン終了です」

Turn3 End

《カゲト》

Life 5

Hand 5

Reserve 0

Trash 4

Burst ??

Field

ビートルゴン<1>Lv3

バーゴイル(1) Lv3

邪神域(0) Lv1

「このアドバンテージの稼ぎ方で数年前のカードだ……やはりおかし

「いのではない？」

「今更じゃないですか？」

「ははは、それもそうだな。ではスタート、コア、ドローステップ時に手札の冥猫蛇めいびょうじやアイニを破棄することでドロ一枚数を＋1して2枚ドロ。リフレッシュ、メイン。さて、どうするか。少し考えるよ」「了解です」

《店長》

Hand 3↓2↓4

Reserve 0↓1↓4

Trash 3↓0

冥猫蛇めいびょうじやアイニ……懐かしいな、アルティメットバトル環境当時ではやや不遇だったカードだ。実質的にデッキ枚数を37枚にできることから紫速とかループデッキなどで採用されるだけで、召喚時目当てで採用されることは殆どないカードだったな……。

「……よし。魂鬼のソウルコアをリザーブのコアと入れ替えて、2軽減0コストで陰陽童おんみょうわらしをLv1で召喚。陰陽童おんみょうわらしがいる間、お互いのメインステップ中はボイドからコアを増やすかわりにそれぞれのライフからコアを置かねばならない。更にソウルコアが乗っている間、このスピリットは相手の効果を受けず、アタックできない」

「えっ……緑の天敵じゃないですかヤダー……」

「端的に言えばそうだな。続けて2軽減2コストで偶像の館、2軽減1コストでオシリスの地底神殿をそれぞれLv1で配置」

《店長》

Trash 0↓3

陰陽童<1>Lv1

偶像の館(0)Lv1

オシリスの地底神殿(0)Lv1

「ではアタックステップ、シキツルでアタックだ」

シキツル(1)Lv1 Bp1000 紫 疲労(アタック中)

「バースト、フラッシュ無しです」

「(こちらも無い)」

「じゃあライフで受けてバースト発動、けんぶりゆうおう 剣舞龍皇マ・ザイン―じんたい 人態―。解決前に何かありますか？」

「いや、無いな。続けたまえ」

「ではBP12000以下のスピリット／アルティメットを2体破壊するのでたまわに魂鬼とシキツルを破壊、そして破壊した数だけドロ―。その後このスピリットを召喚します。何かあれば解決どうぞ」

《店長》

シキツル (1) Lv1 疲労 [破壊]

魂鬼 (1) Lv1 [破壊]

《カゲト》

Hand 5↓7

けんぶりゆうおう 剣舞龍皇マ・ザイン―じんたい 人態― (1) Lv1

「では相手によるスピリット破壊によりバースト発動、アルティメット・ランスロット。何かあるかね？」

「特に無いです」

「ではそのままバースト効果を解決する。トラッシュの魔影スピリット一体……先程破壊されたシキツルをノーコストで召喚、その後アルティメット・ランスロットを召喚する。シキツルの召喚時効果で1ワシドロ―」

《店長》

Hand 1↓2

アルティメット・ランスロット (1) Lv3

シキツル (1) Lv1

「アタックステップ終了。エンドステップ時、地底神殿の効果によりトラッシュの妖蛇を持つスピリット……冥猫蛇アイニを手札に戻す。さあ、君のターンだ」

Turn 4 End

《店長》

Life 5

Hand 3 (内一枚は冥猫蛇アイニ)

Reserve 0

Trash 3

Burst

Field

陰陽童<1>Lv1

シキツル(1)Lv1

アルティメット・ランスロット(1)Lv3

旅団の摩天楼(0)Lv1

偶像の館(0)Lv1

オシリスの地底神殿(0)Lv1

「なんだろう、やっぱ店長のデツキ苦手です」

「ははは、誉め言葉として受け取っておくよ」

「さて、どうするか……スタート、コア、ドロ、リフレッシュ、メイン。まずは2軽減2コストでネオ・ダブルドロを使用。自分のアルティメットがあるので計三枚ドロ。そして召喚条件はライフ2以上。4軽減1コストで龍魔皇イビルフリードをLv3で召喚、更にアルティメットが召喚されたので手札の地球神剣ガイアノホコをコストを支払わずにイビルフリードに直接合体させるようにして召喚。イビルフリード召喚時 アルティメット U トリガー、ロックオンです」

龍魔皇イビルフリード(1)Lv3「コスト5+0」 アルティメット U トリ

ガー：アーマード・ハーレー「コスト5」 GURD

「ガイアノホコはX クロスアルティメット U トリガー持ち以外との合体中 ブレイヴはコスト0として扱う……故にガードだね」

「まあ当たったらラッキー、くらいですから。バーゴイルを消滅させて合体 ブレイヴアルティメットをLv4にアップ」

《カゲト》

龍魔皇イビルフリード+地球神剣ガイアノホコ(1↓3)Lv3↓4

BP9000+3000

バーゴイル(1↓0)Lv3↓0 「消滅」

「そしてバーストセットしてアタックステップ、合体 ブレイヴアルティメット

でアタック。アタック時効果により自身のBP以下のシキツルを破壊します」

龍魔皇イビルフリード+地球神剣ガイアノホコ(3) Lv4 BP  
9000+3000 極+緑 疲労(アタック中)

《店長》

シキツル(1) Lv1 BP1000 [破壊]

「まあイビルフリードのコストはやや微妙だからね……バーストは無いがフラッシュ。陰陽童のソウルコアをトラッシュに置き、破壊龍皇ジークフリード・ルドラをアルティメット・ランスロットに煌臨。煌臨時効果により相手スピリット/アルティメット五体のコア三個ずつをリザーブへ。特に意味は無いがこの効果で消滅したスピリット/アルティメットの効果は発揮されないよ」

「うげっ……!!が、ガイアノホコは残します」

破壊龍皇<sup>はかいりゅうおう</sup>ジークフリード・ルドラ (アルティメット・ランスロット)

(1) Lv1

陰陽童<1↓0) Lv1↓0 [消滅]

Trush 3↓<4>

《カゲト》

Reserve 0↓<5>↓0

ビートルゴン<1↓0) Lv3↓0 [消滅]

剣舞龍皇マ・ザインー人態ー(1↓0) Lv1↓0 [消滅]

龍魔皇イビルフリード (3↓0) Lv4↓0 [消滅]

地球神剣ガイアノホコ <5>Lv1 疲労 BP5000 緑

[分離](アタック中)

「フラッシュ無いです……」

「こちらが無い。そのアタックはライフで受けよう。バーストは無しだ」

《店長》

Life 5↓4

Reserve 0↓1

「くっそ、ほぼ全滅かあ……アタックステップ終了、エンドステップ、

ターン終了で」

Turn 5 End

《カゲト》

Life 4

Hand 8

Reserve <5>

Trash 3

Burst ??

Field

邪神域(0) Lvl

「私のターン。スタート、コア、ドローステップ時手札のアイニとピラミッド・ボアを破棄してドロー枚数を+2し三枚ドロー。リフレッシュ、メイン。まずはバーストセット。ワイルドカード鬼札の出番のようだね。刮目したまえよ？3軽減3コスト、冥王神龍クロノ・ハデスをLv2で召喚。偶像の館Lv1・Lv2効果、このネクサスを疲労させることで系統・星魂を持つコスト3のスピリット一体のコアを指定場所に置いたものとして転召する」

《店長》

Burst ■

Hand 2↓3↓1

Reserve 7↓0

めいおうしんりゅう冥王神龍クロノ・ハデス<4>Lv

偶像の館(0) Lvl 疲労

「なんか随分と懐かしいネクサス採用してるなと思ったら……！」  
「そういうことだ。久しぶりだろう？存分に味わいたまえ！冥王神龍クロノ・ハデス召喚時効果。我がフィールドのコア3個をボイドに置くことで、相手フィールドのコア4個をボイドへ置く……懐かしきインフェルノアイズ（誰もインフェルノアイズとは言っていない）だ」

めいおうしんりゅう冥王神龍クロノ・ハデス<4>↓1>Lv2↓1

《カゲト》



地球神剣ガイアノホコ <5↓1>Lv1 疲労

「ははは……うっそだあ……コアが初期化された……」

「そんなこともある。バーストはあるかね？」

「無いです。店長の懐古主義が怖い……」

「懐古主義という言葉は正しくないな。ただおマイフェイバリット気に入りが使いたいだけさ……ハデスとルドラのコアを入れ替えてアタックステップ。ジークフリード・ルドラでアタック」

《店長》

破壊龍皇ジークフリード・ルドラ (アルティメット・ランスロット)

<1>Lv1 BP10000 紫 疲労 (アタック中)

「フラッシュ、バースト無いです」

「こちらも無い」

「ではライフで受けます。バーストは……ありません」

《カゲト》

Life4↓3

Reserve 0↓1

「続けよう、クロノ・ハデスでアタック。ダブルシンボルだ」

冥王神龍クロノ・ハデス (1) Lv1 BP5000 紫 疲労

(アタック中)

「特に無いです」

「こちらも無い」

「ではライフで受けます。バーストありません」

《カゲト》

Life 3↓1

Reserve 1↓3

「コアは与えてしまったがまあ良いか。アタックステップ終了、エンドステップ……召喚・煌臨時、消滅時、アタック時、ライフ減少時では開いていない……地底神殿の効果は使わない。ターン終了だ」

Turn6 End

《店長》

Life 4

Hand 1  
 Reserve 0  
 Trash 3  
 Burst ■  
 Field  
 破壊龍皇ジークフリード・ルドラ (アルティメット・ランスロット)  
 <1>Lv1 疲労  
 冥王神龍クロノ・ハデス (1) Lv1 疲労  
 旅団の摩天楼 (0) Lv1  
 偶像の館 (0) Lv1 疲労  
 オシリスの地底神殿 (0) Lv1

「この状況はやっぱいなあ……スタート、コア、ドロ、リフレッシュ、メイン。ええと、コアが8……シンボルは赤緑1と緑1……」  
 「暫く考えるかね？」

「……いえ、大丈夫です。多分これしか無いんで。軽減無しの5コスト、大牙たいが和巳かずきを配置。同名が無いので神託コアチャージ行います」

- ・ 獄風ごくふうの探索者カゲロウ・シーカー
- ・ 甲殻伯こうかくはくメタリフェル
- ・ 獄炎ごくえんの四魔卿よんまきやうブラム・ザンド

「対象は3、よってコア三個を置きます。そして配置時効果、召喚条件は自分のライフ3以下。獄炎ごくえんの四魔卿よんまきやうブラム・ザンドを1コスト支払ってLv3で召喚！その後ボイドからコア二個を大牙たいが和巳かずきに置きます。さらに対象のアルティメットを召喚したので神託コアチャージ」

《カゲト》

Hand 8↓9↓7  
 Reserve 3↓4↓7↓0  
 Trash 3↓0↓5↓6  
 獄炎ごくえんの四魔卿よんまきやうブラム・ザンド (1) Lv3  
 大牙たいが和巳かずき (0↓3↓5↓6) Lv1  
 「ブラム・ザンドにガイアノホコを合体フレイヴ」

獄炎の四魔卿ブラム・ザンド+地球神剣ガイアノホコ(1↓2) > Lv3

「これでアタックステップ入ります。合体アルティメットでアタック。アタック時【ソウルドライブ】発揮！ソウルコアをゲームから除外し、相手スピリット全てを破壊します。更に次の俺のスタートステップまで相手はスピリットを召喚できない！そしてガイアノホコの合体中アタック時効果によりバーストを発動できません」

《カゲト》

獄炎の四魔卿ブラム・ザンド+地球神剣ガイアノホコ(2↓1) Lv3 BP16000+3000 極+緑 疲労(アタック中)

《店長》

破壊龍皇ジークフリード・ルドラ(アルティメット・ランスロット)  
(1) Lv1 疲労「破壊」

冥王神龍クロノ・ハデス<1>Lv1 疲労「破壊」

「ぬう……破壊されよう。バースト、フラッシュ無いよ」

「こちらありません。ダブルシンボル」

「ライフで受けよう」

《店長》

L i f e 4↓2

R e s e r v e <2↓4>

「あとは賭け、か……アタックステップ終了、エンドステップ。ターン終了です」

T u r n 7 E n d

《カゲト》

L i f e 1

H a n d 8

R e s e r v e <5>

T r a s h 3

B u r s t ??

F i e l d

獄炎の四魔卿ブラム・ザンド+地球神剣ガイアノホコ(1) 疲労

邪神域(0) Lv1

大牙 和巳Lv1(6)

「ははは……ブラム・ザンドのソウルドライブ下、このターンで決めなければ恐らく【神技：グランスキル∞】でもう一度ソウルドライブ……容易ではないな。だが、そうでなくては面白くないね」

「正直こっちはお祈りタイムなんですけどね。シンボル持ちブレイヴか、ライフが召喚条件のアルティメット引かれた瞬間負けなんで」

「ふつ、やってやろうではないか。もう一度言うがこのくらいのスリルが無ければ面白くない！スタート、コア、ドロ……リフレッシュ、メインステップに入る。2軽減2コスト、ヴァイオレットフィールドを使用。土星神龍クロノ・ボロスを破棄し三枚ドロ。その後このマジックをフィールドに置き、これがフィールドに置かれている間グランウォーカー創界神ネクサスのシンボルは0となる」

「ぐつ、バーストありません」

「ああ、ふむ……やはりそのバースト、除去札のようだな。ならばこれはどうだ？3軽減5コスト、じやていせいがい蛇帝星鎧ブレイヴピオーズを召喚」

《店長》

Hand 2↓3↓2

Reserve <4>↓<5>↓<8>↓<6>↓0

Trash 3↓0↓2↓7

じやていせいがい蛇帝星鎧ブレイヴピオーズ<1>Lv

「ブレイヴピオーズ召喚時効果。ライフを任意の数トラッシュに置き、置いた数だけ相手のスピリット／アルティメットを破壊する。1個トラッシュに置いて合体アルティメットを破壊だ」

「合体アルティメット破壊されます。バーストありません……ガイアノホコは残します」

「ではこちらはライフ減少によりバースト発動、エクステインクションウォール。発動時に減った個数分……1個をボイドからライフに置く。フラッシュは当然使用しないがね。バーストセット」

《店長》

L i f e 2 ↓ 1 ↓ 2

H a n d 2 ↓ 1

T r a s h 7 ↓ 8

B u r s t ■ ↓ ↓ ■

《カゲト》

獄炎の四魔卿ブラム・ザンド (1) Lv3 「破壊」

地球神剣ガイアノホコ (1) Lv1 「分離」 疲労

「これでアタックステップに入る。ブレイヴピオーズでアタックだ」

蛇帝星鎧ブレイヴピオーズ < 1 > Lv1 BP5000 紫 疲

労 (アタック中)

「フラッシュ、バーストありません」

「こちらが無い」

「ライフで受けます。負けましたあ……」

《カゲト》

L i f e 1 ↓ 0

R e s e r v e 1 ↓ 2

《カゲト》 L o s e …

「ありがとう、良いバトルだったよカゲト君」

「ありがとうございます、店長。やー、なんとかなるかと思ったんですけど……儂い希望でした。ちなみに最後に伏せたバーストって何だったんですか?」

「ああ……ハツタリのアルティメット・ランスロットだよ。本来はジークフリード・ネクロなりデイナーナルなりから大量蘇生してボロス破壊時からのハデス召喚時で互いのコアを消し飛ばすのがコンセプトなのだが……結局見せられなかったな」

「……なんつー傍迷惑なデツキなんだ……」

「はっはっは、褒めても何も出ないぞ?」

「褒めてないんですが……はあ。ま、頑張つて下さいね、店長」

「うむ、勿論だとも」

はーあ、負けた負けた……アキラも一戦目で負けてなかったら一方的に煽り倒されちまうなあ……特価コーナーに置かれてたメガデツ

キ買って弄ってみただけとはいえ、並みの相手なら勝てると思ったんだが……相手が並みじゃなかったというか。でもブレイヴピオーズでトドメ刺しにきた辺り若干遊んでるきらいがあった。あの人、実はムドウだっけ？紫の戦国六武将も引き込んでいたとか有り得るし。そもそも手を抜いていないなら仮にコアが一個足りなくなつてガイアノホコ残させないだろ。

アキラの方はまだ対戦してるっぽいし、ちょっと見物してくるか。

「すみません店長、ちょっとアキラの方見てきますね」

「ああ、わかった。結果報告は私からしておくよ」

「あつ。それがありましたね……久しぶりで忘れてました。ありがとうございます」

有難く店長の厚意に甘えてバトルを覗きに向かう。親しき中にも礼儀あり？ちゃんとお礼言ってるだろいい加減にしろ！

……次出るときは龍帝かちゃんと調整したグランジークで出よう、そうしよう。リベンジしたい。

バトルスピリッツ獄焔 第四話 獄炎vs冥王 了